



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
アジア区主題 "The Power of One" 「一つとなる力」  
西日本区主題 「すべての命を大切に」 --- いのち・平和・環境 ---  
京都部主題 豊かな心 熱き思い --- 555実現に向けて ---  
メネット主題 「メネットのねがい」を広げ、その喜びを共に分かちあいましょ



信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。

ヘブライ人への手紙 第11章1節



「語り合おうワイズで」 思いやり・笑顔

会長 金丸 太一郎

初代廣井会長がプリンスクラブを発足されてから第24代目の会長をさせていただくことに成りました。プリンスクラブも、次々期で25周年を迎えようとしています。又今期、我がプリンスクラブより西日本区EMC主任廣井ワイズ、西日本区LD委員古川ワイズ、西日本区組織検討・安全対策委員森ワイズ、京都部メネット主査西村メネットと多数のメンバーを区、部に輩出しています。皆様、お忙しく、大変だと思いますがよろしく御願います。

私は、今期新たなクラブスローガン「子供達の未来のために」、行動指標「家族と一緒に」のもと会長主題を「語り合おうワイズで」副題、「思いやり・笑顔」とさせていただきます。

盛大な25周年記念例会にするためには、メンバー増強は必要不可欠です。メンバーを増やそうと思えば、メンバー自身にとってクラブ・例会が楽しく、人を呼べる雰囲気作りが大事だと思います。今、不況で暗いニュースばかりです。そう言う時だからこそワイズに集い、思いやり・笑顔で嫌なことを忘れ、ワイズの事は勿論ワイズ以外でも色々な事を語り合うことによってメンバーシップが生まれ、語り合うことによって「よし、明日も頑張ろう」と元気に成り、ゲストも連れて来易くなると思います。

クラブ事業も、「子供達の未来のために」今、プリンスクラブは何が出来か考える事により、プリンスクラブ事業、25周年に相応しい事業が策定出来ると思えます。色々な意味で、今期は25周年に向けての土台創りの期だと考えております。又、クラブを続けるには家族の理解・協力が必要です。「家族と一緒に」「語り合おうワイズで」思いやり・笑顔を持って、プリンスクラブのメンバーがひとつになれば素晴らしい25周年、素晴らしいクラブに成ると確信しています。口下手で、頑固な私ですがどうぞ宜しくお願いします。

クラブ主題

語り合おう  
ワイズで  
思いやり 笑顔

会長 金丸 太一郎  
副会長 三村 良行  
書記 古川 安雄  
会計 小泉 洋

7月例会案内

**5日 サバエワーク**  
「子供たちの未来のために」より良いキャンプサイトをめざして開設ワークに励みましょう。

**15日 定時総会**  
新たな1年の事業を充実したものとする為に評議しましょう。

例会出席

6月第1例会	17名
6月第2例会	18名
在籍者数	21名
出席率	86%
前回出席修正	

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	41,800円

ニコニコ

6月第1例会	8,000円
6月第2例会	0円
累計	79,000円

ファンド

ゴルフ	8,500円
ドリンク	30,000円
トスファンド	53,000円
累計	440,923円

強調  
月周

Kick-Off EMC-C

あなたは例会に何を求めて参加していますか。  
クラブに5年後、10年後が見えていますか。

廣井武司 EMC事業主任





6月3日(水)本日ゲストスピーカーとして、京都市北消防署警防課救急係長川北延博様をお招きし、『成人の傷病者に対する救命手順を学ぶ』と題し、AED(自動体外式除細動器)の使い方の講演をいただきました。まずはじめに、救急車には、3名の救急隊が乗車し、内、救命救急士(国家試験合格者)の資格を持っておられる方2名が乗車されています。医師との電話連絡、指示のもとに救命措置をとりながら、病院まで搬送します。応急手当の重要性「救命のリレー」1早い通報、2早い応急手当、3早い救急処置、4早い救命医療。救急車の到着まで全国平均で6分かかります。6分間到着まで何もしなかった場合の救命率約15%、救命処置をした場合約35%までUPする。それが、心臓が停止してから

2分の時点から応急手当を施した場合の命の助かる可能性が、55%にUPすることからいかに「救命のリレー」の大切さが、よくわかりました。続いて自動体外式除細動器(AED)を用いた心肺蘇生法の流れを教わりました。この場合、成人(8歳以上)の場合と、小児(1歳以上8歳未満)の場合と乳児(1歳未満)の三つに分かれていて乳児は、AEDを使用してはいけないことを理解しました。今後、もしも、救急救命の事態に遭遇した時にあわてずに、「救命のリレー」をつなげられるようにしたいと皆が思ったであろう一日でした。川北様貴重な時間をいただきありがとうございました。今後のご活躍に期待いたします。



## BF代表歓迎会

2009年5月30日  
西堀 和之

5月30日(土)午後8時からアフリカからのBF代表歓迎会が御幸町二条下ルの西山旅館にて京都部主催で開催された。出席者は総勢19名。BF代表はアフリカ北西区の理事Clara Adetuyi女史とラゴス・ワイズメンズ・クラブのメネット会長Amanda Chukwumah女史。聞くところによるとアフリカ大陸は彼女らの所属するアフリカ北西区と同じく北東区の2つの区に分かれ、アフリカ北西区に所属する国はベニン、セネガル、ナイジェリア、ガーナ、カメルーン、リベリア、シエラレオーネ、エジプトとトーゴの8ヶ国。ちなみに国際のホームページではアフリカ地域には15ヶ国、58クラブ、会員数493名と記載あり。お二人は会員数20名のラゴス・ワイズメンズ・クラブに所属し、理事は弁護士、メネット会長は株式の仲買人として活躍されているとのこと。

歓迎会は藤田部長、川嶋主査の挨拶、乾杯と続き京懐石に舌つつみを打つ。生ものが付く料理は危惧されたがお二人とも刺身のワサビに顔をしかめ時を置いて出てくる料理を堪能されていた。各クラブの出席者からバナーがお二人に手渡され、宴のハイライトはパレスクラブ森田さんのお手伝いで浴衣姿のお二人のファッションショー。参加者一同記念撮影。お土産のクラブバナーと浴衣を大事に抱え、帰国時の超過貨物運賃を心配しながらも感謝の意を表される姿はほほえましい。翌31日は朝11時29分発の「のぞみ」で福岡へ。熊本の西日本区大会に参加、鹿児島島のクラブを訪問して帰国の予定。旅の疲れを癒してもらうために歓迎会も早めに切り上げ散会となる。BF代表が入洛以来終始お世話された藤田部長、川嶋主査大変ご苦労様でした。



## 東日本区大会

2009年6月13日-14日  
岡西 博司



6月13日(土)「今、北からはじまる 新・ワイズダム」と題して、北海道の帯広市で開催されました。僕とメネットの二人で参加させていただきました。と言うのも、娘が旭川に住んでおります。実は、娘に会うためにワイズの大会を口実にやってきたわけでありまして。12日に娘たちに会い、今日13日に帯広の大会にやってきました。会場には、人人人、立ち見の人達で超満員。顔見知りのメンバーに席を譲っていただき感謝でした。総勢400名を超えるメンバーでしたが、会場が少し狭かったのか、活気に溢れていた感じでした。

オープニングセレモニーの後、基調講演がありました。宮島 望氏のお話には感動しっぱなし。共同学舎新得農場の代表者ですが、障害の持った人達が自給自活の生活を出来るように、いろんなアイデアを出しながら、共に農業や畜産をされています。一言では、とても紹介できないので、そのうちに京都に来ていただき講演をしてもらいたく、頼んでおきました。実は、娘婿の父親とは非常に親しい人だったので。

今回の理事引継ぎ式では、僕たちのDBCクラブである、東京サンライズクラブの原さんが東日本区の理事になりました。新理事の所信表明の挨拶には、又々感激でした。「今のワイズの現状からは、ワイズの将来は暗い。メンバー増強が至上命令であるが、どうすればメンバーが増えるのか。二つの提案をさせていただきます。この二つのことを全クラブが行えば必ずメンバーが増えますよ。」と言って、具体案を提示されました。理事が具体案まで喋られた事は、いまだかつて無かったのではないのでしょうか。改めて、この原さんと親しくさせていただいている事に誇りを感じた一瞬でした。メネットの淑子さんの着物姿もとっても素敵でした。晩餐会やフェローシップアワーでは、久しぶりに会う事の出来たメンバーたちと、夜遅くまで語り明かす事が出来、本当に楽しい一時が持てた事を、感謝したいと思います。





受付開始の5時30分から3時間半、あっという間に過ぎた感じです。

メンバー17名、メネット10名、ゲスト4名の計31名の例会となりました。開会は、会長お気に入りのガードの曲にのり、メネットと共に入場されて始まりました。司会は、西村ワイズ、リハーサルはしてない様でしたが西村節も高らかに、笑いを誘いながら進められました。会長挨拶、廣井会長はもう既に感極まっておられたのか、最初から涙声での挨拶となりました。やはり、一年間の強い思いがよぎられたのだと思います。私を含めた三役が、どれほどお役に立てたかは解りません。大変だったとは思いますが、廣井会長のリーダーシップを遺憾無く発揮されたと思います。100人例会、新たなスローガンの確定、東京サンライズとのDBC締結等など、プリンスの再生に向けて邁進されました。ほんとに一年間ご苦労様でした。

次いで、来賓のウェルクラブ永井会長からご祝辞を頂きました。そして、今月で退会される渡邊ワイズの挨拶があり、ワイズに入会したパレスクラブからの思いを述べられました。今あるのはワイズのお陰というワイズメンです。残念です。

祝宴は、西村メネットの食前の感謝、古川次々期会長の乾杯で始まり、後半は恒例のスライド上映。一年間の思い出、やはりビジュアルだと一層内容がわかりやすくその時の思いが蘇ります。又、ナレーションは岡本育子さんと、以前から何回かは録音でお願いしていたのですが、今回は生ナレーション。良かったです。さすがプロのアナウンサーでした。スライドの最後には会長の娘さんお二人からのコメントも有り、大いに場が盛り上がりました。

次の表彰式では、皆が納得したプリンス賞西村ワイズ、そして今回特別に敢闘賞として北野ワイズが表彰されました。おめでとうございます。そして、引継式、新役員紹介では同じメンバーが役を受けられる事が多くて、同じような顔ぶれの新旧役員となり、一抹の寂しさを感じました。来年のこの時期、金丸次期会長のものと、もっと大勢のメンバーの笑顔で迎えられる様、皆さんよろしくお願い致します。

そして、引継例会では久しぶりのアトラクションがあり、ドアプライズが催されました。やはり悲喜こもごもは常なのですが、会長にいい景品が当り、皆ほっと一安心しました。

廣井会長、この一年間ほんとにご苦労様でした、そしてありがとうございました。次期は西日本区EMC事業主任として、まだまだゆっくりとは行きませんが、ワイズダムを広げて行って下さい。この素晴らしい例会をお世話して頂いたドライバー委員会の皆さん、ありがとうございました。

廣井武司会長から金丸太一郎次期会長への「引き継ぎ式」がグランドプリンスホテル京都で盛大に行われました。今期は、入会者が多かったにも関わらず退会者が上回り結局減員となってしまいました。メンバー丸となって、会員増強を優先課題としていますので、全員で、焦らずに誠実にメンバー候補作りに励みたいと実感しました。この様な中、10名のメネットさんの参加も頂いてご来賓の方々やゲストの方にもお越し頂き、この引継ぎ例会を盛り上げて頂いたと思います。メンバー一同、皆様には心より感謝致します。

我々のプリンスクラブの顔とも言える廣井会長が、この例会の最初の挨拶で一年を振り返られ、様々な思いからだとお察し致しましたが、目に涙を浮かべておられました。今期の一年だけでなく、パレスクラブからプリンスクラブを設立された頃からを振り返っておられるご様子でした。今、時代も変化して新しいメンバーも増えてワイズメンズクラブのクラブとしてその更なる存在価値を作り上げて行く為にも、私も含めて諸先輩方には色々とお教え頂きたい事が沢山あります。

常日頃思う事は、メンバー同士がより密になれるようにYMCAが作り上げてきた「メンバーシップバイデザイン」をもっとクラブ内に取り入れてはどうかと思います。YMCAと関わる事によって、各事業のノウハウが理解出来るようになり、そのノウハウをクラブ事業にもっと取り入れてメンバーシップバイデザインの良い部分を参考にして行けば、より一層絆の強いプリンスクラブに成長すると思います。

次期金丸会長もお人柄が非常に穏やかです。クラブ内の親睦はもとよりメンバー候補が例会にお見え頂いた時でもアットホームな印象を受けて頂ける事と思います。この機会にメンバーが増える様に私も含めてメンバー候補を例会にお連れしたいと思ひます。皆で頑張りましょう。





2009年6月6日～7日、熊本にて第12回西日本区大会が800名を越えるワイズメンとメネット、コメットが参加して盛大にもたれました。プリンスからは5日から参加の4名と6日から参加の5名のあわせて9名が一年の総決算であるこの大会を楽しんできました。

今最も元気のある熊本での大会はホストクラブを中心に熊本の全クラブが協力して運営されていました。手作りの大会ですと謙遜されていましたが、いま熊本のワイズメンがいきいきと活動されているその空気を感じ取ることができました。パナーセレモニーで大会はオープニング、久しぶりの緊張でパナーをもつ手がふるえました。掛け声がかかったか記憶にはありませんが、会場にプリンスのメンバーを見たときは嬉しいものです。ただ、旅の疲れかあまり元気がないようにみえていましたが、会長の為に?と遠いところを参加してくれたことだけで頭が下がります。

年に一度の大会は多くの出会いと感動を今年も与えてくれました。大会のプログラムは6日の夜の懇親会で最高潮になり、多くのワイズメンと遅くまで語り合い友情を深めることができました。懇親会の後は夜の熊本へみんなでくりだし名物の馬刺しと焼酎でおおいに盛り上がりました。

二日目は朝9時からの聖日礼拝から始まり、報告や表彰がありました。会場は空席が目立ちすこし寂しいムードになります。しかし、西日本区最優秀クラブの発表のころには、独特の雰囲気になりました。今年の栄誉は京都ウイングクラブ、会長の眼に光るものがありました。

今年も無事大会は終わり来年の広島での再開を約束して帰路につきましたが、プリンスからもっと多くのメンバーが参加できればと感じた3日間でした。来年は新幹線でみんなで広島へいきましょう。



去る6月5・6・7日の三日間、主人とともに西日本区大会に参加させていただいた。前夜祭に始まり最終日程までのすべてに参加し、大会を満喫してきた。特に印象的だったのは、九州各クラブの勢いで、メネット会も含めて活動の充実振りが窺えた。新クラブの加盟認証状伝達式が行われるなど活気に満ちていた。メンバーの増員確保もさることながら、クラブとしての活動に全員一丸で取り組む姿勢が印象的で、うらやましく思え、学ぶことが多かった。前夜祭や懇親会、フェロシップアワーでは西日本各地はもとより東日本からの参加者も交え、大いに楽しく盛り上がるのが出来た。地元文化の紹介やおてもやんの登場など工夫を凝らしたもてなしで和ませていただいた。またホストクラブ熊本ジェーンズのメンバーとメネットコメットからなるバンドの登場と懐かしいヒットメドレーの演奏に、会場はダンスに合唱にと盛り上がった。また、私にとっては、「熊本バンドを懐く」と題したスクリーン紹介は、Y M C Aやワイズの起源を改めて確認し思いを新たにすよい機会となった。次期京都部メネット事業主査というお役をいただいたことでワイズに今までとは違った形での参加をさせていただく機会を得て感謝している。番外編は熊本の夜の街でのお楽しみ、馬刺しを初めとする馬肉料理や地元の新鮮な海の幸に舌鼓を打ち、地元の焼酎を飲みながら大いに語り合うワイズメンのかたがたとよい時間をすごせた。閉会後は、日田・湯布院・門司・下関と汽車の旅を楽しみ、よいお湯・よい宿・よい料理を堪能して京都へ戻った。実り多い三日間プラスワンの旅となった。感謝です。

## 東京サンライズDBCだより

東京サンライズクラブ  
菟淵 光彦

6月13日(土)に行われた第12回東日本区大会で岡西さん岡西メネットとお会いして楽しいひとときを過ごすことが出来ました。4月にDBCを締結後、はじめての京都プリンスクラブとの交流となりました。その夜、開催された晩餐会会場での出来事です。西日本区の皆さんや全世界に向けて東日本区大会会場の雰囲気を放映しているライブ中継カメラの前に、突然岡西さんが現れ、顔面ド・アップで「大槻さん、倉田さんこんにちは?! おもしろいよ、今日は!!」とメッセージされると、すぐチャットで「Kuracyan: こんにちは?」「Shinchan: 岡西君!」と返信がありました。ナイス レスポンス!! 来年の横浜国際大会に向けてのテスト放送だったのですが、この様にコミュニケーションが出来ることがよく分かり、岡西さんの積極的なアピール参加に感謝しております。ただ今DVD編集中ですのでお楽しみにしてください。これからも、色々な機会にお会いしてクラブ活動に刺激と活力を注ぎ込みたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



## メンバー自己紹介コーナー 初回は磯谷ワイズを紹介

磯谷 康夫



こんにちわ。ワイズ 暦二年目の駆け出し磯谷 康夫です。簡単に自己紹介させて頂きます。年齢はというと1958年生まれの51歳。京都で生まれ東京で小学校まで育ち、その後京都に戻るも同志社中学を滑り大阪の高槻中学・高校へ。大学はというと、またまた同志社大学を滑り早稲田大学へ。なんと京都の学校にはご縁が無かったか。

大学時代はアジア問題・貧困・差別等に興味を持ち早稲田奉仕園というところでアンチ資本主義を学び？その果てにはバン格拉デシュにて、ヘルプバン格拉デシュという今で言うNGO団体に加わり活動をしていました。大学卒業後、(株)丸紅を受験。偶然にも合格となった。当時左派を気取り資本主義の権化たる商社を批判していたもののいざ合格

となったらコロッと入社。研修後配属となったところは、軽金属部輸入原料科。ようするに、日本ではリサイクル以外取れないアルミニウムを買い付ける部隊。英語も話せない、飛行機も安売りチケットでしか乗ったこともない、5つ星ホテルも泊まったことのない若造が、いきなりビジネスクラス・5つ星ホテル。はたまた、空港に着けば現地雇用社員(ローカル)が日本語で迎えに来てくれる。何処に動こうが運転手着き。小生はなんといい加減か。すぐに心代わり。資本主義万歳！！日本の商社はかっこいい！！と。しかし我がまま気ままはなおらず。10年目で退社。今の(株)シャントレーディング 設立にいたった。

仕事というとこれまた丸紅時代に培った資源をベースに貿易会社。業態は車を解体しそのスクラップのエンジン・パーツを製品として輸出。その解体はバイヤーである外人が直接行うといったビジネスモデル。現在マレーシアのクアラランプールに現地合弁事務所があり、そこを行ったり来たり。そんな中で、ビジネス検証の為2007年同志社大学大学院ビジネススクールにてMBA取得。今日に至ってる。以上簡単ですが略歴をお話しました。

## YMCAって何してるの？どんな人が居るの？

京都YMCA 野外活動部  
大畑 佐織



YMCAと出会ったのは大学生時代にアウトドアクラブでボランティアリーダーを始めることがきっかけでした。リーダーは毎月1回こども達と出会い、山に登ったり野原を駆け回ったり川遊びをしたり、こどもと一緒に様々なことに挑戦する楽しい活動でした。しかしただ楽しく過ごすだけでなく、お友だちとの関係をうまく作るために援助をしていくことや、「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える大切さを子どもたちと一緒に考えまたそれを教えていく役割もありました。また、夏にはサバエキャンプ場で真っ黒になりながらのキャンプ、冬にはスキーキャンプを経験してきました。こども達と一緒に活動をしていくうちに、こども達がより好きになり、もっと楽しい時間をという思いが日を追うごとに強くなっていきました。また同時にプログラムを企画する喜びや苦しみ、仲間と協力

する大切さや人間関係も学びました。そして2008年4月もっと子どもたちと、リーダーと一緒に活動したいという思いからスタッフとして入職しました。現在は60人の幼児のチームと小学校中学年約30人のチームを引率するディレクターとして毎月野外に出かけています。また、長期入院している子どもたちに対して、病棟まで出かけて行き、季節感と楽しい時間をプレゼントする「ウィズキッズスマイル」の活動もしています。ディレクターには、チーム全体の責任を持つことはもちろん、天候やこども達の体力面、精神面を読みプログラムの変更や中止を決定することや、施設や業者とのやりとり等、リーダー時代にはなかった仕事がたくさんあります。また、リーダーを育てる役割も担っています。そのためのリーダートレーニングの準備や講師をすること、プログラムの計画に立会い、相談にのること、時には保護者からのクレームへの対応をすることも仕事のうちなのです。この仕事の大きな喜びは、やはりこども達と関わるができることです。そのための準備をしているときには、こども達を含め会員が喜ぶプログラムを考えることに苦悩したり、リーダーと意見のぶつかり合いがあってもスムーズにいかなかったり、時にはリーダーのミスフォローしたりと大変な時間もありますが、こども達の笑顔を見れば全て喜びに変わります。一方、辛いこともあります。それは、ディレクターという立場になってしまったからこそ、こども達に直接関わるができなくなったことです。今はリーダーを育てることが仕事であり、リーダーを通して間接的にこども達と過ごすことがあっても、グループを持ちこども達と過ごすことはなく全体を見る時間が多いのです。一緒に部屋で布団を並べて寝ることもなくなってしまいました。けれど、リーダーを育てることによって間接的にこども達が大きくなることを喜びと感じられるようになりました。最後に私の夢は「リーダーが4年間リーダーをし続けて卒業すること」です。残念ながら現状では家庭の事情や、その他様々な理由によりリーダー生活を4年間やりきることなく卒業することがあります。しかし、辛い中でも4年後にはきっと大きな学びや喜びが待っていることをリーダーOGとしてスタッフとして伝えたいのです。だからこそ私はリーダーが大きくなるよう指導し、喜びや辛いことを分け合って日々活動できるように力を注いでいるのです。



去る5月31日(日) れいせんゴルフ倶楽部にて、今期2回目の廣井杯ゴルフコンペが、開催されました。前回と違って今回は、参加者10人中8人がプリンスクラブのメンバー。スタートを待つ午前10時頃は、どんよりとした曇り空で風が冷たくて、半袖では寒くてあわててロッカーへ長袖のウインドブレーカーを取りに行ったほどでした。

今回初参加の式部ワイズは、10数年ぶりのラウンドとか、しかし昔取った杵柄は健在の様子、パーシモンの3ウッドでのティーショットもフェアウェイに残り距離も十分に飛んでいました。私にとって強敵現るです。もう一人の初参加者小野ワイズは、最近ゴルフをやり始めたばかりとの事、ティーグラウンドでのスイングを見てみると、「負けたかな」と思わせるスイング。しかし18ホールが終わってみると、ほとんどのホールでティーショットをOBしたとの事、掛け値なしのようでした。このコースは「狭い杯」とも言われるコースで、私も初めてのラウンドではショットホール以外のほとんどのホールでOBを出した記憶があります。そんなコースなので、今回私はティーショットでのOB対策として、バックスイングで腕を自分の肩の高さ以上に上げない事に気を付けてスイングした結果、ティーショットでのOBも2ホールあったかなあという程度、魔の7番ホールも最高の地点にティーショットを運ぶことができました。

お天気も昼前には急激に回復、午後のラウンドは、初夏の日差しと新緑いっぱいの景色を楽しみながらのラウンドができて、私は大満足。「成績は?」「ご想像にお任せします」

## YMCA NEWS

まもなく子どもたちにとって大切な夏休みが始まります。普段の学校生活では出来ないこと、週末では時間が足りなくて参加できないもの、夏だからこそチャレンジできることなど、本当にたくさんの体験活動ができる期間です。特に自然体験活動とおして学ぶことが数え切れないほどあります。更にはまた、その少年少女と向き合い、自分たちのもつエネルギーを注ぐことで、自らがその貴重な体験を基に変えられていく青少年であるリーダーにとっても待ちわびた夏休みであります。京都YMCAではサバエキャンプ場、リトリートセンターがその中核となる場所であることは言うまでもありません。そして、今年も皆さんの皆様のおささえにより、子どもたちの元気で澁刺とした躍動感のある姿で溢れるものとなりますことを感謝いたします。さて私たちの日常生活の中では、楽しいことや嬉しいことと同様に、悲しいこと、苦しいことに遭遇しますし日々その繰り返しでもあります。その中であって、YMCAに連なる私たちは、喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣くことのできる存在でありたいと思ひますし、青少年を育てることが使命と考えています。

### 1. リーダー研修が始まりました。

大学生ボランティアリーダーに1回生44名が登録し、実行委員会のもとトレーニングが始まりました。6月6日～7日リトリートセンターにおいて一泊二日で新人、経験リーダー105名が、経験に応じYMCA理解、リーダー論、グループワーク、発達障害理解、現代社会の諸問題、食の安全などの研修を行いました。今後、救急法や発達障害、キャンプなど専門別トレーニングを受けながらそれぞれの配属に応じ、子どもたちのリーダーとして活動を始めます。リーダー養成のための奉仕活動基金への募金よろしくお願ひいたします。

### 2. 2008年度定期総会が開催されました。

5月30日会員定期総会が開催されました。予算、決算、事業計画、事業報告のほか、日本YMCAリーダー認証や各ワイズメンズクラブ会長への感謝状贈呈がありました。

### 3. YMCAサマープログラム参加者募集中!

キャンプ、短期集中スイミングクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室 YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

キャンプ・デイキャンプ 電話075-231-4388

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室 電話075-255-4709

### 4. オリエンテーション講座のご案内

～京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために～正会員としてYMCA運動を積極的に担っていかうという意欲のある方を対象に、YMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時：7月24日(金)午後7時～9時

場所：京都YMCA三条本館201号室

対象：京都YMCAに入会して3年以上の方、またはキリスト者で正会員としての志のある方。

お申し込みは申込書に記入のうえ7月21日(火)までに受付またはFAX・E-Mailにてお申し込みください。お問い合わせは電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970 e-Mail:kyoto@ymca.org

### 5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第29回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時：7月18日(土)午後7時～9時

場所：京都YMCA(三条柳馬場)

参加費：お一人300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-438またはvb@kyotoymca.or.jp

## Happy Birthday

JULY

2日 小野 敏明 ワイズ

## 今月のスケジュール

7月

5日(日) 第一例会 サバエワーク  
京都YMCAサバエキャンプ場  
15日(水) 第二例会  
グランドプリンスホテル京都  
24日(金) 三役会 金丸会長宅  
29日(水) 役員会 京都YMCA

## 役員会報告

<承認された議案>

廣井会長期事業委員会活動報告

広義会員を認める

西川直秀・渡邊公生ワイズ退会

今期事業委員会の事業計画案

今期年間スケジュール及び収支予算案